



伊丹市マスコット たみまる

2022(令和4)年1月1日 第1461号 毎月1・15日発行

広報

伊丹



この号の主な内容

- 2面 市役所業務は4日から
- 3面 職員を募集
- 4面 新春お年玉企画
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口●197,530(-540) 世帯数●82,900(-406)
 2021年12月1日推計 ()は前年12月1日比
 発行・伊丹市広報課



〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1

☎072-783-1234(代表)

ファクス072-784-8107(広報課)

ホームページ <https://www.city.itami.lg.jp>



伊丹酒蔵通りを走る公用電気自動車

Happy New Year

人とまちが輝く未来へ



伊丹市長 藤原保幸

新年明けましておめでとうござい
 ます。市民の皆さまには、お健やか
 に初春を迎えられたこととお慶び申
 上げます。

昨年も前年に引き続き、コロナ禍
 の1年でした。しかし延期されてい
 た東京2020オリンピック・パラ
 リンピック競技大会が、無観客では
 ありましたが開催され、本市ゆかり
 の選手を含めアスリートの皆さまが
 活躍し、私たちに多くの感動を与え
 てくれました。

新型コロナウイルス感染拡大は市
 民の皆さまのご協力により、昨年の
 感染ピーク時と比べ随分と落ち着き
 ましたが、まだまだ楽観はできませ
 ん。世界ではオミクロン株による感
 染や感染再拡大の動きもみられま
 す。日本では3回目のワクチン接種
 が急がれており、準備ができ次第、
 市民の皆さまへの接種を順次スタ
 ートさせます。

また、コロナ禍の長期化が地域経
 済や市民生活に大きな負の影響を及
 ぼしています。国・県とも連携し、
 各種給付金の支給や地域経済の活性

化などに取り組んでいきます。
 これから未来に向け、世界中で社
 会のデジタル化、グリーン化が進ん
 でいきます。

コロナ禍対応の反省も踏まえ、遅
 れていた日本のデジタル化は急速に
 進んでおり、本市においても住民票
 などのオンライン申請や、「待たせ
 ない」「書かせない」をコンセプト
 にしたスマート窓口の設置などを進
 め、学校ではICT教育のさらなる
 充実に取り組みなどデジタル化を推
 進していきます。

また、地球温暖化防止のための2
 050年カーボンニュートラルに向
 けた取り組みが加速しています。本
 市においても、11月にオープンする
 市役所新庁舎や2025年の開院を
 目指す統合新病院での省エネ・創エ
 ネの取り組み、公用車の電気自動車
 化、太陽光発電設備の共同購入促進
 など、市民の皆さまとともに積極的
 にグリーン化を推進していきます。

本年が皆さまにとって、希望に満
 ちた幸多い年となりますよう心から
 お祈り申し上げます。